

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

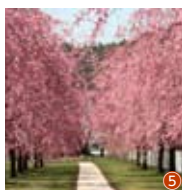
市内企業のものづくり・人づくりを紹介！  
企業のちから

No.12 The company in Shirakawa

味の素製薬(株)福島工場  
AJINOMOTO PHARMACEUTICALS CO., LTD.

住所：白坂牛清水103-1  
事業内容：医療用医薬品の製造

消化器・代謝性疾患に特化した  
尖ったスペシャリティファーマを目指す



- ① 前身の日本ルセル株は、本市とフランス・コンピエーニュ市が姉妹都市となるきっかけとなりました
- ② 各建物を東西南北に延びた廊下でつなぐモジュール構造を採用した福島工場
- ③ 従業員の皆さん。写真右は、工場を案内してくれた管理グループ長の江幡茂雄さん
- ④ 錠剤梱包作業の様子。工場内はセキュリティ体制が徹底されています
- ⑤ 敷地内の桜並木。4月20日ごろから5月10日ごろ（午前9時～午後4時）まで一般公開
- ⑥ 「震災のとき、地域の皆さんの協力を肌身に感じ、感謝しています」と話す工場長の印口さん

「私たちの会社では、味の素グループならではの医薬品を製造しています。中には患者さんの命にかかわる重要性の高い医薬品もあり、それらを欠品することなく提供することに努めています」と話す工場長の印口真二さん。

味の素製薬(株)福島工場は、アミノ酸を応用した消化器・代謝性疾患分野の医療用医薬品を製造。“味の素グループならではの薬づくりを通して、一人ひとりの健康とより良い生活に貢献する”という経営理念のもと、徹底した製造・品質管理を行い、スペシャリティファーマ（特定の分野に特化した製品開発）を目指しています。

福島工場は、昭和61年に外資系医薬品メーカーの工場として操業を開始。その後、数回の合併・統合を経て、平成13年に味の素グループとなり、平成22年に現在の社名に変更しました。

敷地面積は6万7千㎡、従業員は約250人。従業員の約95%が地元の人で構成されているこの工場は、地域の雇用に大きく貢献しています。

「これからも地域に根差した企業を目指し、地域の皆さんとともに歩んでいきます。また、春には、工場の建設時に植樹したしだれ桜が満開になります。一般の方にも公開していますので、ぜひお越しください」と印口さんは笑顔で話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、2月20日から3月20日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。3月21日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店様
- カラオケYOU歌人をご利用のお客様
- オクダユカ様
- 寺門美子様
- ちゃあしゅう屋新白河店様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》  
(2月22日～3月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会様
- 明日飛子ども自立の里様
- 栃木ボランティアネットワーク様
- 国学院みたらし会様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、京都を拠点に活躍されている、イラストレーターの渡辺チカラさんに小峰城の桜が咲き乱れ、人々が集う様子をイラストにいただきました。

イラストで印象的なのが、可憐な桜を見ながら会話を弾ませている多くの人たち。

「さあ、元気に笑おう。きっと明るい未来が待っている」と、輝いた風景の中から、はっきりとした声が聴こえてきました。

「いいね！」を押して市の情報をチェック

白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>